

八文 高等学校定時制課程 令和8年度 教科

地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： ( 帝国 高校生の地理総合・新詳高等地図 )

教科 地理歴史 の目標： 歴史的背景を踏まえた考察ができるようにする。

【知識及び技能】 日本の歴史と世界の歴史の関わりを理解し、学んだ知識をもとに資料の分析、情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事柄を、多面的・多角的に考察し、現代社会に見られる課題解決に向け、考察できる力を身に付け、それらを議論できる力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自己の能力を変革・向上させようとする力を身につける。

科目 地理総合 の目標： 授業を通し、異なる文化や価値観を理解・共有できる人材を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに注目して、概念などを活用して多面的・多角的に考慮したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
A 単元 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理システムの役割や有用性などについて理解する。 地図や情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取りまとめる基礎的・基本的な技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに注目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多目的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・教科書の図表から季節の変化・経度・緯度の考え方を読み取らせる ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	9
B 単元 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・実際に時差を求めさせる。 ・世界にある国境を画像で紹介して、特徴、国境が決められた歴史的背景について考査させる。 ・地図帳 ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	9
C 単元 生活文化の多様性 【知識及び技能】 世界の人々の生活文化を基に、生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・世界各地の多様な生活文化を考査するにはどのような方法があるか、教科書や資料集を利用して、考査させる。 ・プリント	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	10

2 学 期	<p>A単元 世界の気候と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 気候の違いが生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。</p>	<p>・気候の違いによる植生、生活様式の違いについて考察させる。</p> <p>・プリント</p>	<p>①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート</p>	○	○	○	13	
	<p>B単元 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・現在、世界規模・地球規模で抱えている環境問題について考察させる。</p> <p>・プリント</p>	<p>①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート</p>	○	○	○	17	
3 学 期	<p>A単元 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・先進国・発展途上国それぞれが抱えている都市問題について、多面的・多角的にどうすれば持続可能な地域づくりができるか考察させる。</p> <p>・プリント</p>	<p>①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別考査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート</p>	○	○	○	20	
							合計	
								78

※なお、生徒の理解の進み方等の事情により、必ずしも上記計画の通りに展開するものではありません。

八文 高等学校定時制課程 令和8年度 教科

公民 科目 公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： ( 教育図書 新訂版 高等学校 公共 )

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業を通じ、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す	社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。	さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業を通じ、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元：公共と人 【知】 ・青年期が人生において持つ意味を理解する。 ・日本における「おおやけ」と欧米における「パブリック」の違いについて理解する。 【思】 ・公共的空間とはどのような空間か自分の体験や具体的な事例に基づき思考する。 ・現在の日本社会の公共的なあり方は先人の政治的取り組みの成果であることを表現する。 【学】 ・多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深める。将来自分が働くことを想定し、自分の労働力をどのように生かすべきか自覚を深める。	【指導事項】 ・人は一人では生きられない ・人はどのようにつながるのか ・対話から生まれる公共 ・日本の公共思想 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	7
単元：公共と倫理 【知】 ・功利主義と義務論の相違について理解する。 ・温暖化の原因について理解する。 【思】 ・社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考えに基づき表現する。 ・地球温暖化問題について、自分の身の回りの生活と、世界規模の視点の双方の観点から、考えを表現する。 【学】 ・学習した内容を自らの倫理観、過去の行為に照らし合わせ、思考する。 ・CO <sub>2</sub> 削減のためには、一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考する。	【指導事項】 ・功利主義と義務論 ・地球温暖化問題 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	7
単元：公共の基本原則 【知】 ・自分にとって有益な選択肢を主張するだけでなく、不利益をこうむる他者への配慮ができるようになる。 ・異なる意見を持つ他者の考え方を理解する。 【思】 ・公共的な観点から、表内の選択肢について自らの考えを表現する。 ・表内の反論に対して、自らの考えを表現する。 【学】 相手の意見を聞き、複数の選択肢を横断し、最適な解を模索する。	【指導事項】 ・生徒会予算をどう分配するか ・意見が分かれたときにどう決めるか ・民主政治の歴史 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	7
単元：現代社会の諸課題 【知】 ・法と道徳との相違点について理解する。 ・日本の法体系、法の分類、法の対象について理解する。 【思】 ・法の限界を理解し、法の実効性を高めるための手段について思考する。 ・よりよい社会の実現のために法がどのような機能を果たしているか表現する。 【学】 法について興味関心を持たせる。	【指導事項】 ・法と社会 ・日本の司法制度 ・国民の司法参加 新聞などの補助教材の活用 タブレット使用（ICTスライドなど）	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	7

1  
学期



# 八丈 高等学校定時制課程 令和8年度 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 清水書院 改訂版 私たちの歴史総合 ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 日本の歴史と世界の歴史の関わりを理解し、学んだ知識をもとに資料の分析、情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事柄を、多面的・多角的に考察し、現代社会に見られる課題解決に向け、考察できる力を身に付け、それらを議論できる力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自己の能力を変革・向上させようとする力を身につける。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、考察するための基本的な知識を取得し、知識を用いて諸資料から各事象の歴史的意義を調べたり仮説を立てる。また、グラフ、図、史料の読解力を獲得する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを文章でまとめ、説明したり、それらを基に議論する。	自己の歴史に対する認識を深め、諸資料から多角的・多面的に歴史的事象の意義を判断し、よりよい社会の実現をめざして、自己の認識や能力を変革・向上させようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	単元 近世の日本と世界  【知識及び技能】 基本的な知識を身につけ、絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 学びから歴史的事象について深い理解を獲得し、それを基に協同活動を行い、表現する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを活かし能力を向上させ、それを基に共同活動を行い、その大切さを実感させる。	江戸時代の外交  ・東アジアの17世紀の国際秩序 ・西欧で始まったグローバル化 ・アジアへ向かうヨーロッパ諸国 ・イギリス産業革命で変わる世界 ・イギリスの繁栄と国際分業体制  指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	12
	単元 国民国家と明治維新  【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、その内容を協同活動で確認し、能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 能力を向上させ、認識を深めさせる。	国民国家と立憲体制  ・二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 ・国民統合とナショナリズム ・明治維新期の日本と世界 ・近代国家への意向と憲法改正  指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	16
	単元 第一次世界大戦と大衆社会  【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、その内容を協同活動で確認し、能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 能力を向上させ、認識を深めさせる。	第一次世界大戦と国際社会  ・第一次世界大戦 ・社会主義革命 ・国際協同体制 ・アジアの民族運動  指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	30

3 学 期	単元 経済危機と第二次世界大戦 <b>【知識及び技能】</b> 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な絵画や風刺画から必要な情報を読み取る力を身につける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 学習した知識・技能を利用し、その内容を協同活動で確認し、能力を身につける。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 能力を向上させ、認識を深めさせる。	国際協調の挫折と2度目の世界大戦 ・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の大陸進出 ・第二次世界大戦 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	20
						合計	78

八丈 高等学校定時制課程 令和8年度 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1組

教科担当者：

使用教科書：（実教出版 最新政治・経済 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現実社会が抱える課題の解決に向けて、概念や理論について理解し資料から、これからの社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身につける。	国家・社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論」を活用し、現実社会に見られる複雑な課題を把握する力を身につける。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代社会の諸課題① 【知識及び技能】 人口減少社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働をめぐる問題、農業と食料問題、人種・民族問題など、政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身につける。	・雇用と労働をめぐる問題 ・人種・民族問題 ・農業と食糧問題 ・少子高齢社会と社会保障  指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	14
	B 現代社会の諸課題② 【知識及び技能】 公害・環境問題による社会保障問題がどのように日本経済に影響しているかを理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身につける。	・地域社会の変貌と住民社会 ・地球環境問題 ・SDGsの取組 (エネルギー・ゴミ)  指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	14
2 学 期	C 現代国家と民主政治 日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 近代国家と民主政治の関係性を歴史的な事柄から学び、現在の日本の政治が抱えている問題を理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身につける。	・民主政治の成立 ・民主政治のしくみと課題 ・日本国憲法の成立  指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	15
	D 現代の国際政治 【知識及び技能】 国際社会における日本の役割を歴史的な事柄と、現在の国際情勢を学び、理解したうえで解決策を考える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身につける。	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際化協力  指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート	○	○	○	15

3 学 期	<p>E 日本の平和主義と国際平和 現代の経済社会 現代の国際経済 【知識及び技能】 日本と諸外国とのこれまでの関わり方を歴史的事柄から学び、平和主義に至るまでの経過を理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 諸課題に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断できる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できる力を身に付ける。</p>	<p>・平和主義と自衛隊 ・企業の役割 金融の役割 ・日本の財政の課題 ・貿易と国際収支</p> <p>指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換</p>	<p>①出欠状況 ②提出物の内容 ③授業中における態度（興味・関心・意欲） ④単元別調査 ⑤確認テスト ⑥振り返り週間ワークシート</p>	○	○	○	20
						合計	78

